

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	535 地域振興推進事業（旧：地域拠点活力共創マネジメント事業）						
予算科目	01-080401-24 周辺市街地振興に要する経費				担当部課	都市計画部周辺市街地振興課	
市長公約	82	84	85-2	86-2	係名		
戦略プラン	I-3	2	1	地域主体のまちづくり体制の構築推進		新規・継続	新規
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	一部委託
個別計画					事業期間	毎年度	
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民、来街者等
目的	各市街地で組成してきた周辺市街地活性化協議会の自走化と地域経済の活性化に取り組みやすい環境の醸成を目的とする。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> 各周辺市街地活性化協議会が自ら資金等を獲得し、自走化していくための運営・組織強化を支援する。 地域活性化に関するコンテスト等の開催、実証支援により、まちづくりに多様な人材が参画しやすい環境を醸成する。 地域の空き店舗等を活用したチャレンジショップを運営することで地域の賑わい創出を図るとともに、地域経済の活性化に取り組みやすい環境を醸成する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	18,389	13,707	21,096	20,843	
	決算額	(千円)	0	17,788	13,266	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	8,988	6,633	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	8,800	6,633	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	8,139	13,626	18,215	18,215	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.00	1.80	2.50	2.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	545.00	545.00	465.00	465.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市HP、広報誌、SNS、回覧板、まちづくりに関するアンケート
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	つくばR8地域会議（成果報告会）

指標の推移

1	指標名	つくばR 8 地域会議（8市街地合同勉強会）への参加者数（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	90.0	100.0	110.0	120.0	120.0
	実績	94.0	394.0	157.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	（個別施策 I-3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標）					

2	指標名	地域人材を養成する講座・セミナー等への参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	30.0	40.0	50.0	50.0	50.0
	実績	38.0	8.0	49.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I -3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)					
3	指標名	チャレンジショップ出店件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	2.0	4.0	4.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	空き店舗を活用したチャレンジショップで出店した件数を設定する。令和4年度から募集開始予定。(令和3年度から指標名を変更しました。)					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	協議会活動の自走化のため、協議会会員と有識者の情報交換等を実施する組織として「つくばR8ネットワーク」を設置し、各協議会の取組事例を共有することで共通課題の議論を行った。	
成果	有識者のセミナーによりヒントを得て、活動の幅が広がったとの声があった。	
課題	業務	各協議会会員の平均年齢が高くなっていることから、今後も持続可能な取組としていくために、若年層が参画しやすい活動としていく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	若年層が参画しやすい環境を醸成するために、若年層向けのイベントを実施するとともに、各協議会と連携しやすい環境を醸成する支援を実施していく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	536 周辺市街地活性化チャレンジ補助金					
予算科目	01-080401-24 周辺市街地振興に要する経費				担当部課	都市計画部周辺市街地振興課
市長公約	90-2	93-4	96-2		係名	
戦略プラン	I-3	2	1	地域主体のまちづくり体制の構築推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	補助金（直接）
個別計画					事業期間	期間限定複数年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民（周辺市街地活性化協議会）、来街者等
目的	地域主体の地域活性化に関する取組を支援する。
概要 (取組内容)	周辺市街地活性化協議会（8周辺市街地毎に1団体を認定）へ上限50万円の補助金を支出するなどし、地域活性化の取組を支援する。

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	4,000	4,000	4,300	4,600	
	決算額	(千円)	0	3,352	4,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	3,352	4,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,802	5,865	3,746	3,746	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.50	0.80	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	163.50	163.50	135.00	135.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	回覧板
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	つくばR8地域会議（成果報告会）

指標の推移

1	指標名	周辺市街地活性化協議会の加入者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	64.0	160.0	170.0	180.0	190.0	200.0
	実績	150.0	216.0	162.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策 I-3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各周辺市街地活性化協議会会員と有識者を交えたセミナーを実施し、自走化への意識づけを行った。	
成果	セミナーを受けた一部の協議会で、自ら事業計画を策定し、自己資金獲得に向けた活動を行うなど、自走化に向けた活動を実施する協議会が出てくるなど、一定の成果があった。	
課題	業務	
	組織、予算等	
改善目標		

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	042 学校跡地地域運営拠点事業					
予算科目	01-080401-24 周辺市街地振興に要する経費			担当部課	都市計画部周辺市街地振興課	
市長公約				係名	振興係	
戦略プラン	I-3	2	2	地域づくり拠点の形成	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	一部委託
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	地域住民、小田地域への来訪者
目的	学校跡地を核とした地域コミュニティの醸成及び小田地域への来訪者の市街地内への呼び込み・周遊促進を図る。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ拠点の管理・運営方法の検討支援 ・利用者獲得支援 ・地域コンテンツ・メニューの検討・実施支援 ・地域の情報発信支援

コストの推移

項目			令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	
事業費	予算額	(千円)	0	7,445	10,190	1,272	1,272	
	決算額	(千円)	0	7,264	9,830	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	3,754	5,512	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	3,510	4,318	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	7,737	10,495	7,612	7,612	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.00	1.40	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	381.50	381.50	320.00	320.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	SNS、回覧板、動画、住民説明会の開催
企画・立案、計画	試行的イベントの開催準備
実行	試行的イベントの開催
評価、検証	地域の運営主体との定例会議、住民説明会の開催

指標の推移

1	指標名	旧小田小学校でのイベント等開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4.0	6.0	8.0	10.0	12.0	14.0
	実績	5.0	7.0	6.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)					

2	指標名	旧小田小学校を活用した企画運営に関わった地域住民数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	30.0	30.0	40.0	40.0	40.0
	実績	28.0	33.0	43.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I -3-②地域資源をいかした持続的な周辺市街地の振興 関連指標)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		
成果	新型コロナウイルスの影響により、予定されていたイベントが中止になったが、成果として6つの交流イベント等が実施され、地域コミュニティの醸成が進んだ。	
課題	業務	事業規模の見直しに伴い、今後の地域運営による拠点の在り方を模索していく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	持続的な運営が可能か否かを含め、他自治体の事例を参考にしながら拠点運営の在り方を模索する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	縮小
理由	計画当初では、登山客やサイクリストの需要を見込んでいた。しかし、学校跡地付近に新たな民間の拠点が創設されたことで、人流の変化が見られ、計画当初の需要が大幅に変動していることから事業規模の見直しを行ったため。